

廃液等引渡伝票

		研究室等整理番号				
ブロック番号			引渡年月日	年	月	日
部局・ 研究室等名			TEL			
責任者職・氏名						
廃液等分別収集区分		摘 要		個数	排出量	※センター処理状況
無機系廃液	A	水 銀 系 廃 液		個	L	
	B	シ ア ン 系 廃 液		個	L	
	C	フ ッ 素 ・ リ ン 酸 系 廃 液		個	L	
	D	酸 及 び ク ロ ム 混 酸 廃 液		個	L	
	E	重 金 属 系 廃 液		個	L	
	F	ア ル カ リ 系 廃 液		個	L	
	G	写 真 定 着 廃 液		個	L	
有機系廃液	H	可 燃 性 廃 溶 剤		個	L	
	I	廃 油		個	L	
	J	ハ ロ ゲ ン 系 廃 溶 剤		個	L	
	K	難 燃 性 有 機 廃 液		個	L	
有害固形廃棄物	L	-1	水 銀 系	可燃、不燃	/	kg
		-2	シ ア ン 系	可燃、不燃	/	kg
		-3	フ ッ 素 ・ リ ン 酸 系	可燃、不燃	/	kg
		-4	重 金 属 系	可燃、不燃	/	kg
		-5	有 機 系	可燃、不燃	/	kg
		-6	そ の 他	可燃、不燃	/	kg
※センター受取者職・氏名				※センター整理番号		

- (注意) 1 ブロック番号については、廃液等の指定回収場所の番号を記入すること。
 2 摘要欄への記入については、秋田大学有害廃棄物暫定処置指針に従い、含有する全ての成分を記入のこと。
 3 無機系廃液及び有機系廃液では容器(10リットル)の個数と排出量(L)を、有機固形廃棄物は排出量(kg)を記入のこと。
 4 有機固形物廃棄物は、L-1~6に分けて、かつ可燃性及び不燃性に区分すること。
 5 研究室等は太枠部分を記入し、その他(※)はセンターが記入すること。